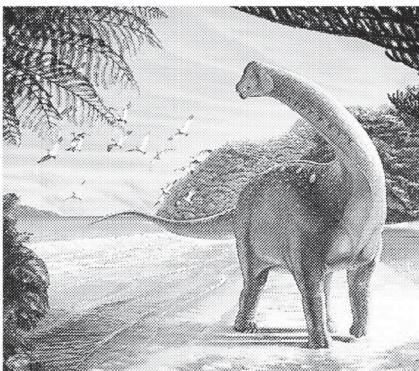




かほく

ワークシート

エジプトのサハラ砂漠で見つかった草食恐竜「マンスーラサウルス」の想像図
(カーネギー自然史博物館提供)



エジプト、待望の恐竜化石 白亜紀後期 サハラ砂漠で発見

エジプトのサハラ砂漠で約8000万年前の恐竜の化石が見つかった。恐竜絶滅に近い白亜紀後期に当たるが、アフリカでは化石がほとんど見つかっておらず待望の発見だ。

下顎や首、肋骨、前脚などの化石が見つかり、調査した大学名から「マンスーラサウルス」と名付けた。首が長く4本足で歩

く草食恐竜で、ティタノサウルス類とみられる。この仲間には地球史上最大の陸上生物とされる全長40mの種もいたが、マンスーラサウルスは全長8～10mだった。

化石の特徴は欧州やアジアの種と似ていた。一つの巨大大陸から南米が分離した後も、アフリカと欧州の間では陸上生物が移動できた可能性がある。

問題

- ①どこの国の何という砂漠で、恐竜の化石が見つかりましたか。

国名 ()
() 砂漠)

- ②見つかった恐竜には、何という名前が付けられましたか。

()

(小学校／朝学習、中学校／理科第二分野
＝示準化石、大地の変化)

現在、野生動物がたくさん生息しているアフリカで、これまで恐竜の化石がほとんど見つかっていなかったのは意外ですね。アフリカ大陸と南米（南アメリカ）大陸、ユーラシア（ヨーロッパ・アジア）大陸が、

出題者から

昔は一つの巨大大陸だったことも驚きです。これからも、どんな場所で恐竜の化石が発見されるのか、楽しみに待ちましょう。

（日本新聞協会NIEアドバイザー・柴田町船岡小主幹教諭 坂本謙）